

議事録及び会議報告書

会議名	浜見小学校避難所運営委員会（避難所開設訓練）									
場 所	浜見小学校 多目的室	日 時	2026	年	7	月	30	日	(木)	
			10:00			～	12:00			
参加者	辻堂団地三街区会、藤沢ニューライフ自治会、ソルシェ湘南辻堂海岸自治会、ヴェレーナ湘南海岸自治会、施設管理者（浜見小学校）、藤沢市従事職員、辻堂地区防災拠点本部（辻堂市民センター）									
備 考										
次 第	1 地区防災拠点本部長あいさつ 2 自己紹介 3 浜見小学校運営マニュアルの説明 4 施設見学 5 開設訓練 6 ふりかえり 7 閉 会									
議事録	3 浜見小学校運営マニュアルの説明 資料「浜見小学校避難所運営マニュアル」参照 別紙資料「浜見小学校避難所開設手順（全体の流れ）」 【資料の訂正】 P8 浜見小 教室配置図 誤 ②CR ④フリールーム 正 ②フリールーム ④CR 【質疑】 ・車で避難してくる人がいるのではないかと。 →市では地震発災時の車両避難は止めるよう周知している姿勢であることから、各避難所では受け入れない想定となっている。ただし、風水害の際は、秋葉台体育館が車両による避難先として指定されている。 ・開設準備中、雨の際もグラウンド待機を考えるのか。 →建物の安全確認が取れるまでは、倒壊に巻き込まれる危険があることから、グラウンド待機が原則となる。傘やレインコートなど、避難に必要なものとして各自で備えておいていただくことが想定にある。なお、建物の安全確認後であれば、学校の玄関前の屋根の下などを活用可能となるが、スペースには限りがあるので、全員が雨よけできるということは難しい。									

- ・雨や風を防ぐのにテントの設営等は考えないのか。
- グラウンドでの待機は避難所開設準備の間だけの想定のため、開設後には不要になることを考えるとテント設営の時間を他の開設準備に充てたほうが良いという認識である。

4 施設見学

マニュアルにある番号のとおり、施設見学を実施した。

5 開設訓練

別紙資料「浜見小学校避難所開設手順（全体の流れ）」に従い開設訓練を実施。

6 ふりかえり

【質疑】

- ・実際の開設手順に入るまでには時間がかかると思っている。防災倉庫が開くのも市の職員が来てからでは時間がかかるのではないか。
- 平日、休日にもよるが基本的には各自治会・町内会の方のほうが市の職員よりも早く避難所に到着することが想定される。まずは各自治会が定めている一時避難場所での安否確認や初期消火、人命救助に注力いただき、そのあとで避難所の開設、運営にご協力いただきたい。
- ・施設の安全確認については市の従事職員も専門家ではない。どう判断をするのか。
- 「開設 BOX」の中に建物損壊に関するチェックリストがある。これを活用いただき判断をお願いしたい。専門家ではないことについては、逆を言えば素人でも判断ができる程度の損壊が見られる場合は問題があるともいえる。
- ・浜見小学校は震度 7 にも耐えられる建物なのか。
- 平成 7 年 1 月に発生した阪神淡路大震災の被害状況を受け、全国的に学校施設の耐震化が求められたことから、本市においても改築事業の実施から、旧耐震基準の校舎及び屋内運動場の耐震化を優先し、平成 23 年度には全施設の耐震化工事を完了している。
- ・マニュアルが少ないと説明が大変なため、もっと部数があってもいいのではないか。
- ラミネートしたものとは別に、開設に必要な最低人数分である 9 部は紙資料として開設 BOX に入っている。本日は模擬開設だったため活用シーンが少な

かったが、本番発災時にご活用いただきたい。

- ・各フェーズで必要となる備品が透明な袋に小分けにされていたが、中身の色が透けるために、どの役割用かという袋の表示がわかりづらかった。透明袋の視認性も重要かもしれないが、例えば色付きの袋に文字を記載するなどして、誰用の袋なのかをわかりやすくすることも重要ではないか。

→中身が見えることよりも重要な観点だと思うので、反映に向けて検討する。

7 閉会

以 上